

「第4回ホワイト企業アワード 2019」において ダイバーシティ&インクルージョン部門で損保業界初の受賞

2019年3月18日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、一般財団法人日本次世代企業普及機構が主催する「第4回ホワイト企業アワード 2019」において、損保業界で初めて「ダイバーシティ&インクルージョン部門」で受賞しました。

1. ホワイト企業アワードについて

「ホワイト企業アワード」とは、「家族にも入社を薦めたくなるような会社、次世代に残すべき素晴らしい会社」をホワイト企業として認定し、世の中に共有すべき取り組みや実績を表彰・発信することで、働き方改革に取り組む企業へ事業運営・改善のヒントを普及させることを目的に、2016年度より実施されています。今回の総エントリー数は1,091社で、当社を含む25社がそれぞれの部門*で受賞しました。

※ホワイト企業アワード 2019は、次の9部門に分かれています。

「チームホワイト企業賞(2社)」「理念共有部門(3社)」「生産性向上部門(3社)」「ダイバーシティ&インクルージョン部門(3社)」「ワーク・ライフバランス部門(3社)」「柔軟な働き方部門(3社)」「健康経営部門(2社)」「人材育成部門(3社)」「働きがい部門(3社)」

<ホワイト企業認定マーク>



<3/14 開催ホワイト企業アワード表彰式の様子>



2. 受賞理由

当社では、中期経営計画「AD Vision2021」において、「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする『特色ある個性豊かな会社』」を確立し、企業価値の向上と持続的成長の実現を目指す姿として掲げており、ダイバーシティ&インクルージョン推進を重要な経営戦略のひとつとして位置づけています。

当社の取り組みの柱として、女性活躍推進、障がい者雇用・定着支援、LGBT理解促進、人権啓発等の推進を進める中で、この度、障がい者雇用・定着支援の取り組みが、「障がい者との『共生社会』の実現」として特に評価され、ホワイト企業アワード「ダイバーシティ&インクルージョン部門」の受賞となりました。

当社は今後も、障がい者雇用・定着支援をはじめダイバーシティ&インクルージョンの推進を通じ、多様な人財が活躍できる会社づくりを目指して、積極的に取り組みを進めていきます。

<ご参考>

一般財団法人 日本次世代企業普及機構 ホワイト企業アワード HP (<https://jws-japan.or.jp/award/>)

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

